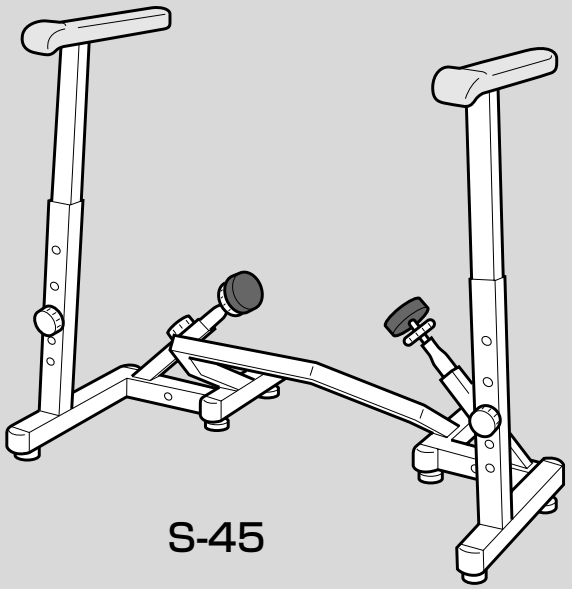
安寿（あんじゅ）

大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

洋式トイレ用フレーム
S-45
取扱説明書

このたびは洋式トイレ用フレームS-45をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、取扱説明書は大切に保管してください。



S-45

もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえと同梱部品	2
特長	2
取り付けの前に	3
取り付け方法	3~5
お手入れの方法	6

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意　必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠警告

改造はしないこと
また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしないこと
正常にはたらかず、けがの原因になります。

肘掛けの上に乗ったりぶら下がらないこと
肘掛けが破損し、けがの原因になります。

⚠注意

肘掛け固定ネジ･アジャスター固定ネジがゆるんでないか、定期的に点検すること
ゆるみがある場合には、使用を中止し、ボルトをゆるみがないよう増締めすること
ゆるんだまま使用すると、不安定になりけがの原因になります。

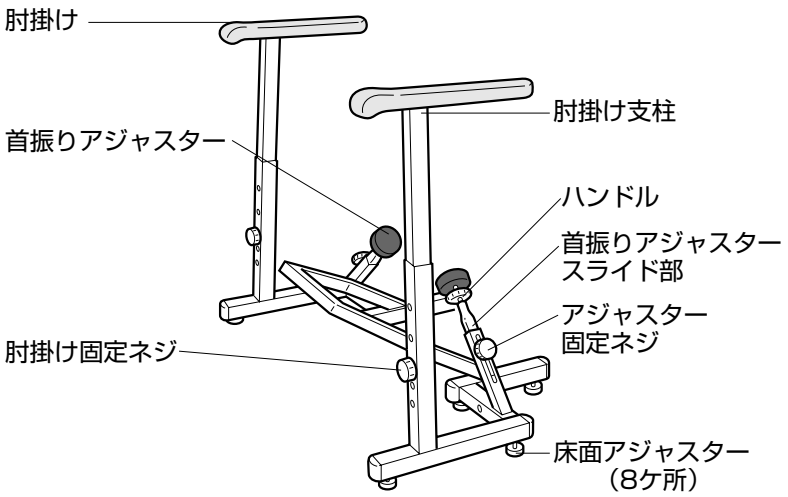
使用者の身体状況によっては、介助者が付き添ったり、お買い上げの販売店かケアマネジャーなど専門家に相談すること

各部の調節（高さ調節など）については販売店かケアマネジャーなど専門家に相談すること

体重が100kgを超える方は使用しないこと
破損する恐れがあります。

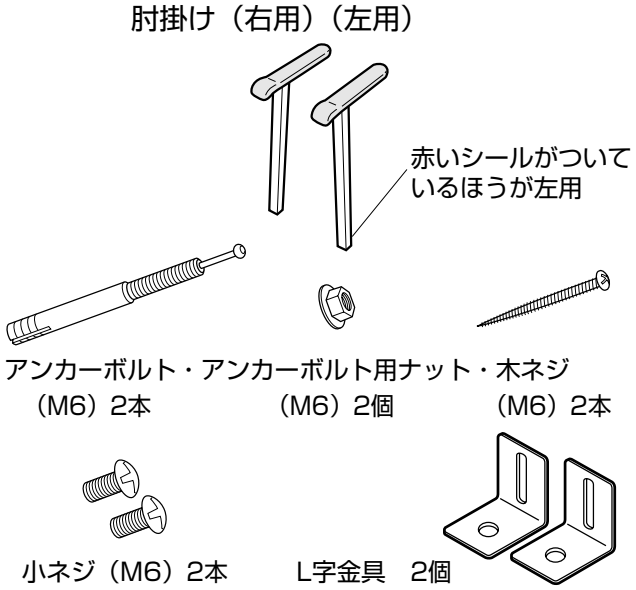
立ち座りのとき片側の肘掛けにのみ全体重をかけないこと
転倒したり、けがの原因になります。

各部のなまえと同梱部品



■部材・付属品

組み立てる前に部品をご確認ください。



■仕様

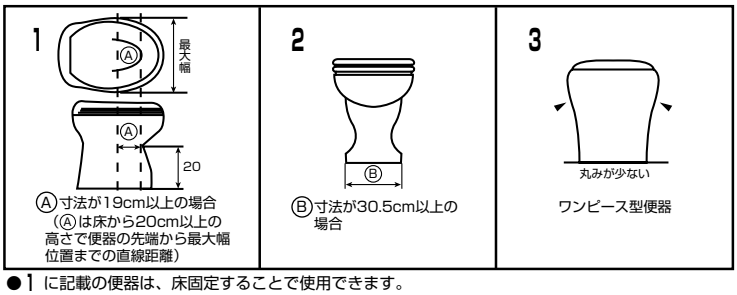
品名	洋式トイレ用フレームS-45
材質	フレーム：スチール（エポキシ系粉体塗装） 首振りアジャスター：鉄、ナイロン、ステンレス鋼 首振りアジャスターパッド：合成ゴム 肘掛け：PP樹脂
寸法	幅70×奥行き47×高さ55～71cm
重量	約6.4kg

特長

●組み立て、取り付けは簡単です。コンパクトなので、組み立ててから、トイレ室内へ入れて簡単に取り付けできます。
●首振りアジャスターが斜め下から便器を挟み込んで、しっかり固定します。
●肘掛けの高さは、5段階（床から55、58、61、66、71cm）に調節可能。
●肘掛けは握りやすい形状です。
●肘掛けは抗菌加工で清潔です。
●床面アジャスターを装着しているので、トイレの床が斜めになっていても安定して取り付けることができます。

取り付けの前に

下図のような便器には取り付けできません。



Ⓐ寸法が19cm以上の場合（Ⓐは床から20cm以上の高さで便器の先端から最大幅位置までの直線距離）

Ⓑ寸法が30.5cm以上の場合

ワンピース型便器

●**1** に記載の便器は、床固定することで使用できます。

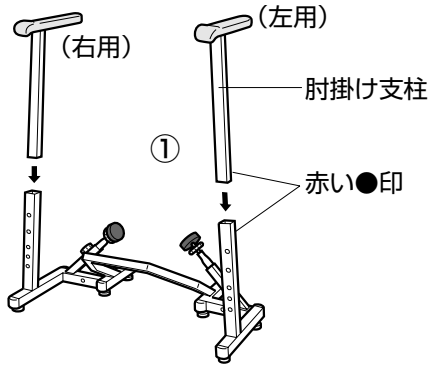
●**2**、**3** に記載の便器には、「洋式トイレ用フレーム SUS-15」をお試しください。

取り付け方法

①肘掛けを本体に取り付ける

肘掛けは右用と左用を間違えないように取り付けてください。

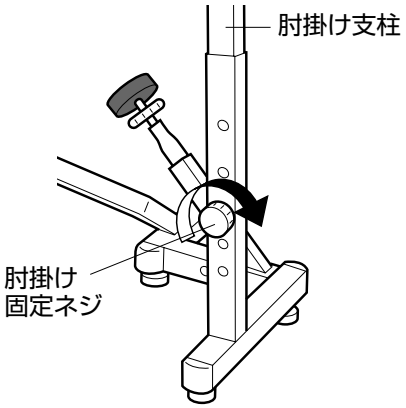
左用の肘掛け支柱には赤い●印がついています。フレームの左側にも赤い●印がついているので、印のついている物どうしを合わせてください。



②肘掛け固定ネジを取り付けて固定する

肘掛けの高さを選び肘掛け固定ネジを差し込み支柱のネジ穴に取り付けます。

肘掛け固定ネジは手でしっかり締め付けてください。



③フレームをトイレに設置する

図のように、フレームはトイレの正面から取り付けます。

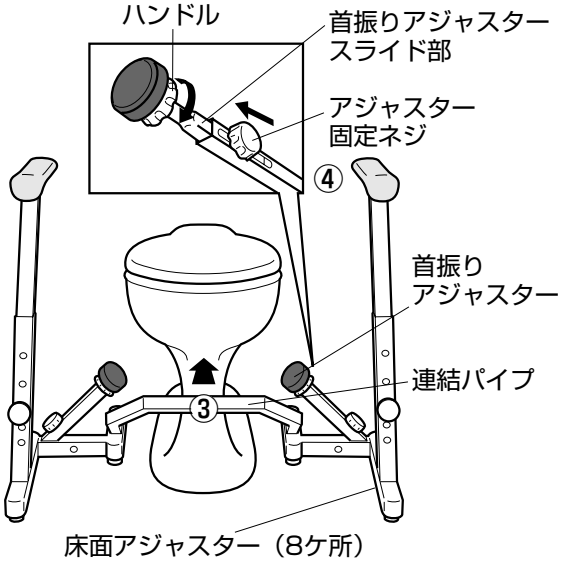
トイレの先端と、連結パイプが接触するように設置し、床面アジャスターで、フレームが安定するように調節します。

④トイレに固定する（左右同時に行なう）

首振りアジャスターは、あらかじめハンドルを右へ回して縮めておきます。

首振りアジャスタースライド部を引き出し、トイレに接触するところでアジャスター固定ネジをしっかり締め付けます。

首振りアジャスターのハンドルを左へ回して、フレームをしっかり固定する。



以上の作業で取り付けは完了ですが、完全に床に固定したい場合は、次ページの要領で施工してください。

取り付け方法

床固定方法

洋式トイレ用フレームは、独自の固定方法により、便器にしっかり固定できますが、更にフレームをしっかり固定することができ、フレーム本体の回りを防止する床固定の部品を付けております。

1 施工される業者の方へ

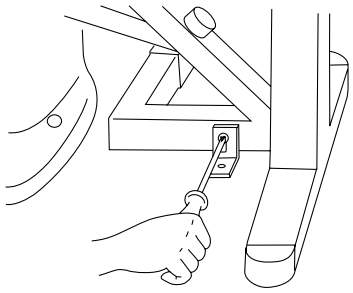
施工される前に、この説明書をよく読んでから施工に取り掛かってください。

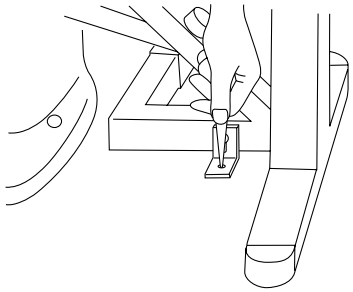
2 必要な工具

・電気ドリル（床がコンクリートの場合は、ハンマードリル）
・＋ドライバー（＋3ビット）
・ソケットレンチまたはスパナ（二面幅10mm）

3 手順

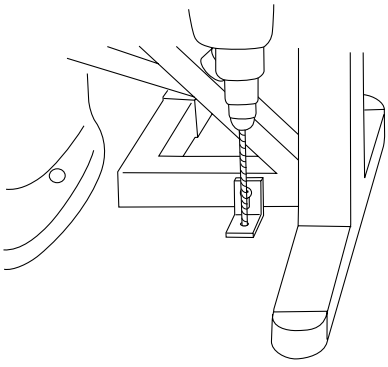
① 3～4ページにしたがって、洋式トイレ用フレームを仮組みしてください。
② 仮組みした状態で、洋式トイレ用フレームの図の位置にL字型金具の垂直面（長穴の開いている面）をあてがい、小ねじ（M6）で仮固定します。
③ L字型金具の水平面の穴の中心部分に合わせて床に印をつける。





（床が木の場合）

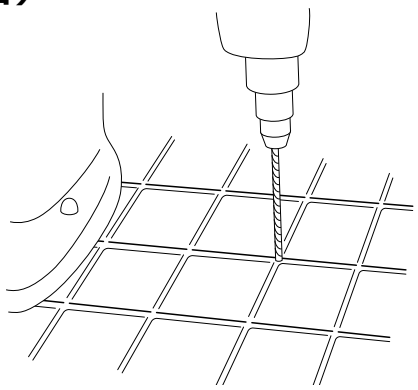
④ ③で印を付けた床に、木工用ドリルでφ3の下穴をあけてください。
⑤ L字型金具の水平面を木ねじで固定してください。



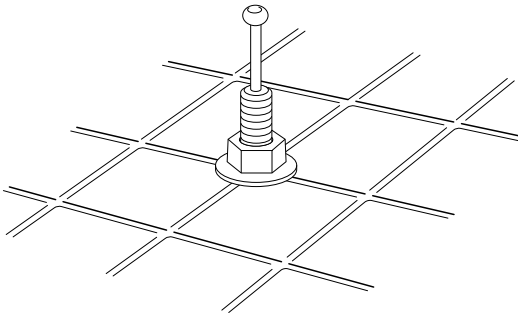
取り付け方法

（床がコンクリートあるいはタイル貼りの場合）

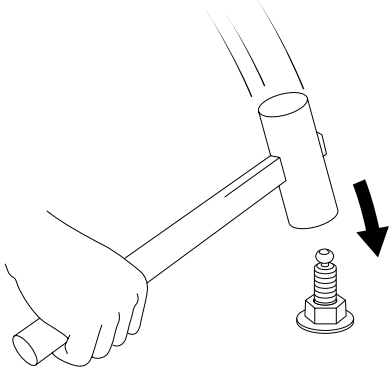
④ 一旦洋式トイレ用フレームを便器から外し、③で床に付けた印の部分に、コンクリートドリルでφ6.5mm深さ30～35mmの穴をあけます。（床がタイル貼りの場合、タイルが破損するおそれがあります。必ずタイルとタイルの間の目地の部分に穴をあけるようにしてください。）



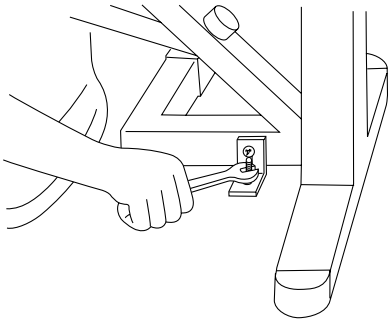
⑤ アンカーボルトにアンカーボルト用ナットを取りつけ、④で開けた穴にアンカーボルトの埋設部分（端面が4つに割れている方）を差し込みます。ここで、穴の深さが30mm以上ある場合、ナットから突出するねじ部分の高さを調節することができます。ナットを仕上がり寸法より約2mm深く差し込んでください。



⑥ アンカーボルトの頂点に突出しているピンをハンマーで叩き込み、アンカーボルトを固定して、ナットを取り外します。



⑦ 洋式トイレ用フレームを組み立て、最後にL字型金具の水平面の穴をアンカーボルトに合わせ、ナットで締めつけて固定してください。



お手入れの方法

●中性洗剤のうすめた液をやわらかい布に含ませ、汚れを取った後、乾いた布で空ふきしてください。洗浄液がフレーム内部に入らないよう、注意してください。さびの原因になります。

※たわしや磨き粉、研磨剤入りのスポンジなどの使用は避けてください。

⚠注意

塩素系洗剤、シンナー・クレゾールなどは絶対に使用しないこと

塗装がはげたり、さびたり、プラスチックが劣化することがあります。